

フィールド2 環境調和
～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

◎地球環境の保全

(施) 環境活動促進費 (環境部 環境保全課) (拡充)

6,710千円 (3,607千円)

1 事業目的

にはま環境プランを着実に進行するため、市民・事業者・行政協働での環境対策を進める。

市民モニターに自宅でみどりのカーテン(ゴーヤ)を育てることで省エネ意識の醸成、水生生物観察会等で自然保護の意識高揚を図るほか、「海辺の生物」調査・原稿作成等の委託、自然観察会開催、環境家計簿普及、環境パネル制作、生ごみのたい肥化に関する意識調査などを実施する。

また、新居浜市地球高温化対策地域協議会の推進事業である「マイバッグの持参推進」、「エコドライブの普及促進」、「節電・節水」に関する啓発活動を行うほか、地元住民の行う渦井川流域環境保全活動を補助する。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

- | | |
|--------------------------|---------|
| (1) みどりのカーテン事業 | 225千円 |
| 育て方講習会 (講師謝金・旅費) | |
| ゴーヤ苗、温度計 (モニター配布用) | |
| 育成記録表郵送料 | |
| (2) 自然共生事業 | 2,238千円 |
| 自然観察会 (講師謝金・旅費) | |
| 「水生生物」冊子印刷製本 | |
| 「海辺の生物」調査・原稿作成委託料 | |
| (3) 環境活動推進事業 | 613千円 |
| 自然観察者養成講座等 | |
| 環境家計簿普及等 | |
| 環境パネル作成等 | |
| 生ごみ処理アンケート | |
| (4) 新居浜市地球高温化対策地域協議会活動事業 | 3,534千円 |
| 講演会の開催 | |
| マイバッグ持参推進啓発活動 | |
| エコドライブ教室開催 | |
| 省エネ啓発パンフレット作成 | |
| (5) 渦井川水系の環境保全活動事業 | 100千円 |
| 渦井川水系の環境保全活動に対する補助金 | |

4 財源内訳

- | | | |
|---------|---------|----------|
| (1) 繰入金 | 5,997千円 | (環境保全基金) |
| (2) 一財 | 713千円 | |

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

(施) 環境基本計画推進費 (環境部 環境保全課)

7, 525千円 (16,710千円)

1 事業目的

地球温暖化等の環境問題に対応するため、市民・事業者・行政協働での環境対策を進める。

第19回環境自治体会議にいはま会議を5月25日～27日までの3日間にかけて開催し、全国の自治体職員、研究者、NPO法人など先進的な環境問題に関する取り組み事例や課題などを抽出し、新居浜市として取るべき今後の環境方針を明確にする。これを受け、新居浜地域の温暖化防止計画策定に着手する。また、平成22年度に施行された改正省エネ法に適正に対応するため、市が所管する各施設ごとの管理標準を順次整備する。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

(1) 環境自治体会議 2,035千円

第19回環境自治体会議の開催

開催日 平成23年5月25日(水)～27日(金)

場所 新居浜市民文化センター大ホールほか

(2) 温暖化対策地域計画策定等事業 5,292千円

温暖化対策地域計画策定業務委託料

管理標準整備業務等委託料等

(4) 環境マネジメント推進事業(ニームス) 198千円

環境監査委員報償費

◎ごみ減量の推進

(施) 家庭ごみふれあい収集事業費 (環境部 ごみ減量課)

9,023千円 (8,649千円)

1 事業目的

家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難な高齢者又は障害者が属する世帯に対し、戸別に訪問して家庭ごみの収集を実施することにより、高齢者又は障害者のごみ排出に係る負担を軽減するとともに、日常生活を支援する。

2 事業年度

平成23年度

3 事業の概要

家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことの困難な独居の高齢者又は障害者の世帯等に対し、対象となる世帯からの申請に基づき、週1回の戸別収集を行う。

ステーション方式とは異なり、大型ごみを除く各種のごみを一度に収集する。また、収集日にごみの排出が無い場合は、その場で声掛けを行い在宅・不在の確認等も行う。

4 23年度の事業内容

ふれあい収集対象者は、251人。(平成23年1月末現在)

委託料 ごみ収集委託料 9,023千円

4 財源内訳

(1) 繰入金 9,023千円 (地域福祉基金)

◎下水道施設の整備

(施) **公共下水道事業特別会計繰出金 (環境部 下水道管理課)**

107,900千円 (103,350千円)

※以下特別会計ベースの事業費

◇**管渠等建設事業費 804,000千円** (680,000千円) (下水道建設課)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、下水道の整備を促進することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成23年度から平成29年度

3 23年度の事業内容

(1) 工事費 725,000千円

・ 汚水幹線 A=22.77ha L=3,911m (320,000千円)

・ 汚水促進 A= 7.38ha L=1,193m (50,000千円)

滝の宮汚水幹線、池田汚水枝線他

平成23年度末普及率目標 58.6%

・ 雨水幹線 A= 9.82ha L=1,651m (345,000千円)

・ 雨水促進 A= 0.27ha L= 120m (10,000千円)

南小松原雨水幹線、上泉雨水幹線他

(2) 委託料 55,000千円

実施設計委託一式

(3) 事務費 24,000千円

4 財源内訳

(1) 国 50% 390,000千円

(2) 市債 90% 372,600千円 (交付税算入率37%)

(3) 受益者負担金 35,400千円

(4) 一財 6,000千円

◇**単独下水道事業費 903,500千円** (900,000千円) (下水道建設課)

1 事業目的

雨水の排除と汚水の処理により、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図るため雨水・汚水の面整備を行う。

また、平成23年度に行う変更認可申請図書の作成を継続して行う。

2 事業年度

平成23年度～平成29年度

3 23年度の事業内容

(1) 工事費 549,400千円

・ 汚水整備 A=22.87ha L=5,942m (446,100千円)

・ 雨水整備 A= 2.24ha L= 604m (98,300千円)

・ 汚水柵(区域外)及び付帯施設整備 (5,000千円)

平成23年度末普及率目標 58.6%

(2) 補償費 140,000千円

新居浜市上水道移設等

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

| | |
|----------------------------------|-----------|
| (3)委託料 | 142,000千円 |
| 実施設計委託、現場技術業務委託 (127,000千円) | |
| 変更認可業務委託 [H22-H23 継続] (15,000千円) | |
| (4)土地購入費 | 20,000千円 |
| (5)事務費 | 52,100千円 |

4 財源内訳

| | |
|------------|--|
| (1)市債 95% | 836,000千円※市債対象事業費 880,000千円 (交付税算入率 37%) |
| (2)受益者負担金等 | 5,000千円 |
| (3)一財 | 62,500千円 |

◇終末処理場改築事業 231,500千円 (374,000千円) (下水道管理課 下水処理場)

1 事業目的

下水処理場は、昭和55年の供用開始後32年目を迎え、当初からの運転で老朽化し耐用年数を超えた施設の機能回復を図るため、これらの現有設備を、計画的に改築更新する。平成23年度は、昨年度に着手した汚泥処理設備(ガスタンク1基)に引き続き、新たに平成23～24年度の2か年の継続事業として雨水沈砂池設備の改築工事を実施する。

2 事業年度

平成14年度～平成26年度

3 23年度の事業内容

| | |
|---------------------------------|-----------|
| (1)工事委託料 | 198,000千円 |
| ①汚泥処理設備(ガスタンク1基) | |
| ガスタンク改築工事 1式 [H22～23年度継続事業] | |
| ②雨水沈砂池設備 | |
| 機械設備工事・電気設備工事 1式 [H23～24年度継続事業] | |
| (2)委託料 | 30,000千円 |
| 下水処理場再構築基本設計 長寿命化計画策定・詳細設計 | |
| (3)事務費 | 3,500千円 |

4 財源内訳

| | |
|--------------|-------------------------------|
| (1)国 50%、55% | 118,700千円※国庫補助対象事業費 228,000千円 |
| (2)市債 90% | 101,400千円 (交付税算入率 37%) |
| (3)一財 | 11,400千円 |

フィールド2 環境調和
～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

(単) 一般下水路整備事業 (環境部 下水道建設課)

110,000千円 (110,000千円)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、排水路の整備を促進することにより、生活環境の改善及び水質保全を図るとともに浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

(1) 工事請負費

光明寺排水路他8か所 L=480 m 55,600千円

(2) 委託料

切抜排水路測量設計業務委託他5か所 13,000千円

尻無川、東川他除草委託 A=25,000 m² 5,000千円

清掃費等委託料 3,000千円

(3) 補償費

15,000千円

(4) 施設修繕料 水路、マンホール等の修繕

15,600千円

(5) 自動車借り上げ料

800千円

(6) 事務費

2,000千円

(単) 河川改良事業 (環境部 下水道建設課)

30,000千円 (30,000千円)

1 事業目的

河川改良の実施により、浸水被害の解消を図るとともに、生活環境の改善及び水質保全を図る。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

(1) 工事請負費

18,000千円

大谷川他3か所 L=360m

(2) 委託料

土砂等撤去委託 孝々谷川他3か所 10,000千円

測量設計委託 柳川 L=40m 2,000千円

◎安心して安全な水道事業の推進

(単)別子山地区飲料水供給施設整備事業(経済部 別子山支所)(新市建設計画)

253,465千円(16,935千円)

1 事業目的

県条例水道施設が整備されている弟地・保土野集落以外の別子山地域においては、各家庭において水源の管理や施設の維持管理を行っているが、高齢化により、それらの実施が困難となってきた。また、濁り等の水質の問題も深刻な状況であることから、新市建設計画に基づき、飲料水供給施設を整備し、別子山地域全体において「安全・安心・安定的」な飲料水の供給を図る。

2 全体計画

事業年度 平成21年度～平成24年度

3 23年度の事業内容

- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) 工事請負費 | 220,000千円 |
| 一式(瓜生野、小美野・肉淵、成) | |
| (2) 委託料 | |
| 実施設計業務委託料 | 31,029千円 |
| 一式(弟地、保土野、筏津、床鍋他) | |
| 地質調査業務委託料 | 2,436千円 |
| 一式(弟地、保土野、筏津、床鍋他) | |

4 財源内訳

- | | |
|-------------|---------------------------|
| (1) 市債100% | 253,400千円(過疎債(交付税算入率70%)) |
| (2) 別子山振興基金 | 65千円 |